

授業科目名(英語名)	レクリエーション活動援助法(Teaching Method of Recreation)				
担当教員(所属)	井上孝之(福祉臨床学科)、浅沼道成(非常勤講師)、小島勝子(非常勤講師)				
教育課程	資格科目				
開講年次	3年前期				
授業形態	講義・実技	単位数	2	必修・選択	自由科目
資格対応	介護福祉士資格				
授業のねらい・概要	<p>従来レクリエーションは、生活に疲れた人が余暇を利用して休養し、勤労生活に潤いを与えるために娯楽や趣味の時間を過ごすというものとして捉えられてきた。しかし、レクリエーションは若い元気な人だけが対象ではない。生活に安らぎや触れ合い、ほっとした瞬間や生きがい感、達成感や自己実現などをもたらすものとして、むしろそれは高齢者や障害者(児)が一人の人間として日常生活を送るために必要な、人間のもっている基本的な欲求に根ざしたものである。このレクリエーション活動援助法では、高齢者や障害者(児)の自立やQOL(Quality of Life)の向上、身体的および精神的健康の維持・増進という視点から、レクリエーション活動と援助の実際を学び、福祉現場での応用力を身につけることを目的とする。</p>				
学修目標	<p>①レクリエーションについての基本的な考え方が理解できる。 ②利用者の個性性を考え援助者としての必要な技能が習得できる。 ③福祉現場で役立つアクティビティが習得できる。</p>				
授業の計画	<p>第1回-2回：オリエンテーション、レクリエーションの意義と歴史についての概論(井上) 第3回-8回：福祉現場におけるレクリエーションの考え方、グループ活動の初期段階に必要なアイスブレイクの体験(井上) 第9回-18回：レクリエーション援助者としての必要な技能について学ぶ、福祉現場で役立つアクティビティ援助の体験(小島) 第19回-28回：児童や高齢者、障害者等の特性に応じたレクリエーションやニュースポーツ、各種ゲームを行い、援助活動を実際に体験する(浅沼) 第29回-30回：学習のまとめと定期試験(井上)</p>				
テキスト教材等	プリント随時配付				
授業の形式	講義と実習				
成績評価の方法	<p>学修目標①については、修了段階のレポート等(25%)で6割以上の得点を取得すること。学修目標②③については、出席・実習態度(50%)、レポート等(25%)で6割以上の得点を取得すること。</p>				
履修にあたっての留意点	<p>グループでの活動を行うため8割以上の出席を前提とする 授業で使用する用具等の準備、後始末については積極的に協力すること また、授業に必要な素材や服装等は事前に確認をして臨むこと</p>				
備考					